

ガス警報器
AC100V用取付ベース

取付説明書

適合警報器
KN-60KB
(GN6VBAC)

□ 設置工事の前に

警報器を正しく設置していただくため、また、あなたやお客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取付説明書にはいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険 作業を誤った場合に、取付作業員および使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される内容を示しています。
	警告 作業を誤った場合に、取付作業員および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 作業を誤った場合に、取付作業員および使用者が傷害を負う可能性が想定される場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	一般的な禁止
	必ず行う

□ 設置前のご注意

●取付ベースを設置する前に、取付ベース、および取付ける警報器の種類、型式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客様とよく相談して決めてください。

注意	
1. 取付ベース、および取付ける警報器に損傷、変形等異常のないことを確認してください。	必ず行う
2. 取付け、配線作業等施工工事は専門知識を持つ資格者が行なってください。	
3. 取付ベース、および取付ける警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取扱いには注意してください。	
4. 許可されていない内容での改造は行なわないでください。	

警告	
1. お客様に警報器を安全に正しくご使用いただくために、取付説明書をよくお読みになり、指定された施工工事を行ってください。	必ず行う
2. 工事終了後に、警報器の取扱説明書に従って、作動点検を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。また外部機器と連動した場合は、外部機器の取扱説明書、取付説明書に基づいて作動点検をしてください。	必ず行う

危険

1. 取付け、配線作業等工事をされるときは、必ず電源を切って行なってください。感電や火傷のおそれがあります。

必ず行う

□ 取付位置

●取付位置を決めるときには、次のことをよく確認してください。

注意

1. ガスもれを検知しようとするガス機器等を設置している場所と同一の室内に設置してください。
2. もれたガスが滞留しやすい位置で、電源ランプが確認しやすく、容易に点検できる位置へ取付けてください。
3. ガスもれを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓）から水平距離で8m以内、警報器の下端から天井面までの距離が30cm以内になるように取付けてください。（60cm以上の梁がある場合、ガス器具側に設置してください。）
4. アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取付けしないでください。

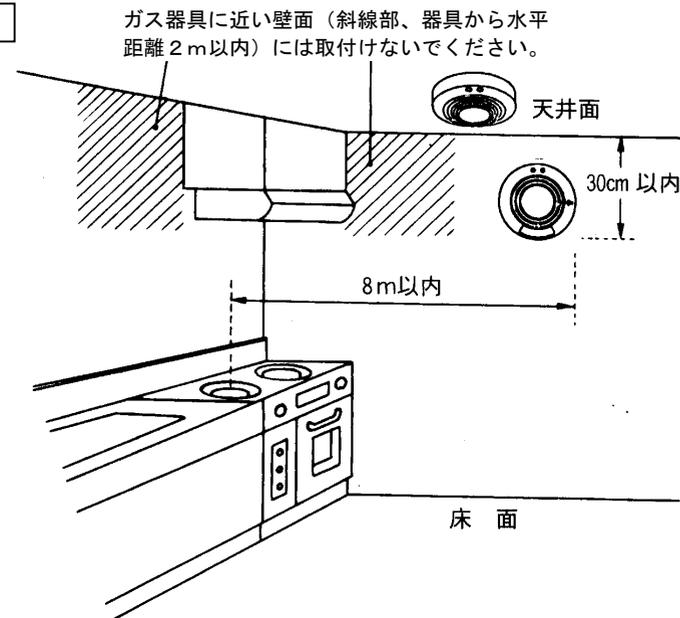
必ず行う

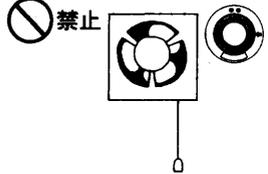
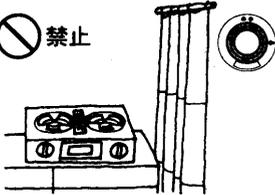
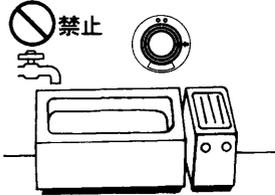
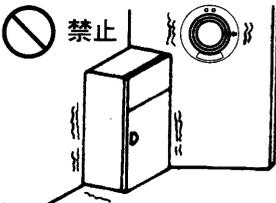
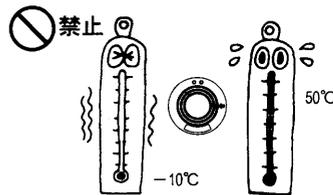
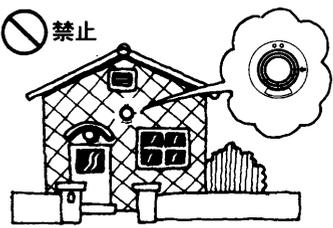
必ず行う

必ず行う

禁止

取付例



<p>注意 次のような取り付け方をされていますと、警報器の警報の遅れや誤報、故障の原因となることがあります。</p>		
<p>● 風通しの良い場所や換気扇の近くなど</p> <p>禁止</p> 	<p>● 燃焼器具などの排気、湯気、油煙などが直接かかる場所</p> <p>禁止</p> 	<p>● カーテンなどで仕切られるところ</p> <p>禁止</p> 
<p>● 浴室や水のかかる場所や水滴のつくところ</p> <p>禁止</p> 	<p>● 使用時しか電源を入れないところ（ビルの給湯室などで、夜間電源を切るところ）</p> <p>禁止</p> 	<p>● 振動、衝撃の激しいところ</p> <p>禁止</p> 
<p>● 温度が-10℃以下、または 50℃以上になる場所</p> <p>禁止</p> 	<p>● 屋外</p> <p>禁止</p> 	

□ 取付方法

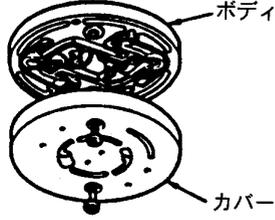
- ガス警報器の取付け姿勢は取付けベースのボディ方向によって決まります。警報器の取付け方向を考慮して取付けベースを固定してください。
- 露出配線を行う場合はボディの上部、下部二ヶ所にノックアウト部がありますので切り欠きをした後、電源線および信号線をそれぞれ引き入れて配線してください。
- 取付けベースの取付け寸法はピッチ **66.7**mmです。
- ボックスに取付ける場合は下記のボックスに適合します。

【適合ボックス】	・ JIS C8340 アウトレットボックス
	・ JIS C8340 コンクリートボックス
【適合ボックスカバー】	・ JIS C8340 丸孔カバー
- 取付けには付属の部品（木ネジ 4×30 2本）を使用してください。

■ 取付手順

1. カバー取付けネジをゆるめてカバーをはずします。

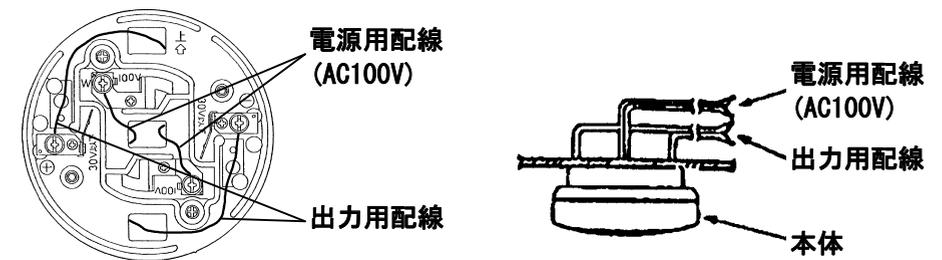
2. ボディの付属の木ネジで取付けます。
 注) 取付方向に注意

3. 結線完了後カバーを取付けます。

4. ガス警報器本体をベースに合わせ、止まる位置まで右に回し、確実に固定します。
 注) 警報器落下に注意


注意

1. ごみ、コンクリート粉、鉄粉など異物が製品内部に入らないよう施工してください。接触不良や誤動作の可能性があります。
2. 端子は確実に締め付けられていることを確認してください。ゆるんだ状態での使用は火災の原因になります。
3. 端子は内側が電源（AC100V）用、外側が出力（DC12V）用です。誤配線しますと警報器の内部回路が破損しますのでご注意ください。
4. 電源用、出力用の電線は、φ1.0～φ2.0のVVF又は、600VのIV線をご使用ください。詳しくは、内線規定をご参照ください。

■ 配線方法



富士電機株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号（ゲートシティ大崎イーストタワー）
 TEL (03) 5435-7111

コールセンター 0120-24-9194